

一日労働局長来会！

9月10日(水)本会にて、県内就職を希望する高校生が「一日労働局長」として訪れ、求人に関する要請文を読み上げた。

山形労働局から一日労働局長に委嘱されたのは山形明正高校3年の佐藤瑠唯さんで、労働局や県の代表者と来会。「県内就職を希望する高校生のため、一人でも多くの求人・採用をお願いします」と訴え、本会副会長の齋藤豊に要請文を手渡した。その後の懇談では、高校生の間では製造業(機械)に人気があること、近年の高校生の雇用状況は改善傾向が見られ、明るい見通しもあることなどの話が出ていた。

労働局の発表では9月末現在、就職希望の高校生は2,915人、うち県内就職を希望する高校生は2,209人、県内の求人数は3,111人で内定率は42.2%。求人倍率は希望者を上回っているが、各々が志望する業種に就けるよう、さらなる求人の掘り出しが求められる。



平成25年度官公需確保対策地方推進協議会開催！



7月31日(水)山形市霞城セントラルにおいて、東北経済産業局の主催による平成25年度官公需確保対策地方推進協議会が開催され、国や自治体、官公需適格組合の担当者ら約30名が出席した。

はじめに、同局産業部中小企業課の佐藤義之計画係長が「平成25年度中小企業者に関する国等の契約の方針」について述べた後、県商工労働観光部中小企業振興課の佐藤有美子主査から山形県の官公需施策について説明があった。続いて、山形県の官公需適格組合の活動状況等について、本会及び日本海物流ネットワーク協同組合の担当者から官公需への取り組み状況などが紹介され、行政機関の担当者など出席者らが真剣に耳を傾けていた。